

○題材の目標及び評価規準の設定

家庭分野の場合、題材の目標を次のように設定します。
 (1)の「知識及び技能」及び(2)「思考力、判断力、表現力等」の目標は、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。(3)「学びに向かう力、人間性等」の目標は、(1)(2)を踏まえて、「生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。」と示す。

単元の評価規準は、次のように設定します。

- ◆「知識・技能」は、基本的には、〔知識及び技能〕の指導事項の文末を、「～について理解している」、「～について理解しているとともに、適切にできる」とする。
 ※「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」とする。
- ◆「思考・判断・表現」は、〔思考力、判断力、表現力等〕に示されている学習過程に沿って、「課題を解決する力」が身に付いているのかを評価する。①家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力については、その文末を「～について問題を見いだして課題を設定している」、②課題解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力については、その文末を「～について(実践に向けた計画を)考え、工夫している」、③課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力については、その文末を「～について、実践を評価したり、改善したりしている」、④計画や実践について評価・改善する際に、考察したことを論理的に表現する力については、その文末を「～についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している」とする。
- ◆「主体的に学習に取り組む態度」は、①粘り強さ(知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面)、②自らの学習の調整(その中で自らの学習を調整しようとする側面)、③実践しようとする態度、を含めることを基本とし、その文末を「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり(①)、振り返って改善したり(②)して、生活を工夫し創造し、実践しようとしている(③)」とする。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、単元を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、単元を構想しましょう。

中学校第1学年 技術・家庭科(家庭分野) 学習構想案
 1 題材構想

題材名	家族・家庭や地域との関わり		
題材の目標	(1) 家族の互いの立場や役割、家族関係をよりよくできること、家庭生活と地域との相互の関わり、高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について理解する。 (2) 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 (3) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ②家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	①家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
題材終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿） ①家族・家庭や地域との関わりにおいて、家族の互いの立場や役割、家庭生活と地域との相互の関わり、高齢者など地域の人々と協働に関する知識や、課題を解決する力を身に付け、家族や地域の人々と関わり方を工夫し創造しようとする生徒			
① 題材を通した学習課題 よりよい生活のために、家族や地域の人々と、どのように関わるとよいのだろうか。		② 本題材で働かせる見方・考え方 「協力・協働」の視点から、課題を解決する力や、家族や地域の人々と関わり方を工夫し創造しようとする。	

★「題材終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を踏まえ、具体的な学習や生活の場面での子供の姿となっていますか
 (文末は「～している(しようとしている)子供(児童生徒)」)
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

実生活(この場合は家族・家庭や地域との関わり)の場面で、学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ⑦「～において」に、実生活の場面を示しています。
- ①「家族や地域の人々との関わり方」に、本題材の学習内容、目標や評価規準を要約している言葉を示しています。
- ②「工夫し創造しようとする」に、実生活の場面でのどのように実践しようとしているかを示しています。

★「本題材で働かせる見方・考え方」のポイント

- 題材を通した学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

題材を通した学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて、思考していくかを想定して、書き表した例

- ⑨「～の視点」に、教科等の特質に応じた見方・考え方に関する内容を示しています。(※家庭分野の場合、ここでは「協力・協働」の視点)

★「題材を通した学習課題」のポイント

- 子供たちが題材を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか
- 見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか
- 子供たちと共有できる表現ですか
- 題材のゴールの姿に迫るものですか

家族や地域の人々とどのように関わるとよいかという課題に取り組むことを通して、よりよい関わり方を見つけていくことをねらって書き表した例

- ⑩「～のために」に、題材のゴールのイメージを示しています。